

代表して修了証を受け取った教員と学生ら



八学大キャリア形成セミナー最終講義 ラグビー部とスピードスケート部

チーム力向上を考える

人間力向上などを目的に、八戸学院大が5月から毎月1回取り組んできた「デュアルキャリア形成支援セミナー」の最終講義が9日、同大で開かれた。男女ラグビー部やスピードスケート部員計80人が、結束を強めるためにするべきことや、卒業後のキャリアについて思いを巡らせた。

ラグビー部が昨年度から取り組む、キャリア形成に関する同セミナー。就職情報大手マイナビ(東京)から講師を招いている。昨年度は大学スポーツ協会(東京)の年間表彰の一つ、マイナビ賞「人材育成支援に関する優秀取組賞」で最優秀賞を獲得した。

本年度はスピードスケート部も受講し、テーマ別に全6回の講義を行った。感情のセルフコントロールをテーマにした最終講義は、マイナビアスリートキャリア事業部の大瀬将之さんが、一人のセルフコントロールが周りに及ぼす好影響について講演。部員らが活発に意見を交わした。

終了後、修了証が受講者全員に配布された。女子ラグビー部を代表して受け取った1年古関未来さん(19)は、「チームに足りないことや、やるべきことを自分から発信していきたい」とチームの成長に思いを向けた。(磯野雄太郎)